

内視鏡下腰椎椎間板切除術 患者さんパスシート(No.1)

ID		診療科名		
氏名		入院予定期間	入院日	
生年月日			退院日	
月日	/ ~ /			
経過	入院1日目～2日目			
達成目標	- 手術、入院生活について理解しましょう。 - 転倒・転落の危険性、予防方法について理解しましょう。 			
治療	特にありません。			
薬	- お薬を内服されている方は、入院時にお薬手帳と一緒に15日分お持ち下さい。 - 医師、薬剤師が確認し継続するかどうか判断します。 			
検査	入院1日目に、PCR検査・レントゲン撮影があります。			
処置	特にありません。			
観察	咳や熱などの感冒症状がある場合は看護師にお知らせください。			
活動	制限はありません。			
食事	制限はありません。			
清潔	シャワーを浴びることができます。			
説明指導	- 入院生活についてご説明します。 - 転倒、転落の危険性、予防方法についてご説明します。 - 整形外科医師より手術前日までに説明を行います。 (外来で、すでに行っていることもあります。) - 手術に使用する、浴衣、バスタオル、T字帯を各1枚をご準備下さい。			

このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。

日本医科大学付属病院 2021年9月作成

内視鏡下腰椎椎間板切除術 患者さんパスシート(No.2)

ID		診療科名		
氏名		入院予定期間	入院日	
生年月日			退院日	
月日	／			
経過	入院3日目 (手術前日)			
達成目標	- 手術について理解しましょう。 - 麻酔について理解しましょう。 			
治療	特にありません。			
薬	医師、薬剤師が確認し継続するかどうか判断します。			
検査	13時から16時の間に麻酔科の診察があります。			
処置	特にありません。			
観察	咳や熱などの感冒症状がある場合は看護師にお知らせください。			
活動	制限はありません。			
食事	21時から食べられません。 - 午前手術の場合：24時まで飲水できます。 - 午後手術の場合：手術6時間前まで飲水できます。			
清潔	シャワーを浴びることができます。			
説明指導	- 整形外科医師より手術前日までに手術の説明を行います。(外来で、すでに行っていることもあります。) - 手術前日の午後、麻酔科医師から外来で麻酔についての説明を行います。外れやすい歯や、ぐらつく歯がある場合は、事前に看護師へお知らせ下さい。 - 看護師より手術前後の処置、必要な物品について説明を行います。手術に使用する、浴衣、バスタオル、T字帯を各1枚をご準備下さい。			

このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。

日本医科大学付属病院 2021年9月作成

内視鏡下腰椎椎間板切除術 患者さんパスシート(No.3)

ID		診療科名		
氏名		入院予定期間	入院日	
生年月日			退院日	
月日	／			
経過	4日目 手術当日(手術前)			
達成目標	手術の目的や、必要性を理解し、手術室に入る準備をしましょう。			
治療	手術開始が午後になる場合は、手術室に行く前に点滴を行います。 			
薬	医師の指示で内服がある場合にはお伝えします。 			
検査	特にありません。			
処置	深部静脈血栓症予防のため、ストッキングを履いて手術室に向かいます。 			
活動	特に制限はありませんが、病室を離れる場合は看護師に声をかけ所在が分かるようにしてください。			
食事	- 食事はできません。 <u>午後手術の場合</u>：手術 6 時間前まで飲水できます。			
清潔	起床後、洗面、歯磨き、髭剃りを行いましょう。			
説明指導	- 手術室に向かう前に、浴衣に着替え、深部静脈血栓症予防のストッキングを履きます。 - 貴重品（指輪・時計・義歯・ネックレスなど）は金庫に入れ、金庫の鍵は看護師にお預けください。			

このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。

日本医科大学付属病院 2021 年 9 月作成

内視鏡下腰椎椎間板切除術 患者さんパスシート(No.4)

ID		診療科名		
氏名		入院予定期間	入院日	
生年月日			退院日	
月日	／			
経過	4日目 手術当日(手術後)			
達成目標	- 痛みや苦痛が強い場合は看護師へ伝えましょう。 - 深部静脈血栓症を予防するための足の運動を行いましょう。 - 安静度の範囲内で行動しましょう。			
治療	- 術後点滴と抗生剤の点滴を行います。 - 酸素マスクをつけます。 - 点滴から痛み止めを流します。			
薬	手術後、薬は基本的に飲みません。			
検査	手術室でレントゲン撮影があります。			
処置	深部静脈血栓症の予防のため、術後は弾性ストッキングを着用します。			
観察	血圧、脈拍、体温、呼吸状態、傷の状態(出血の有無、痛みの程度)について1時間ごとに観察させていただきます。			
活動	- 帰室後、酸素投与終了後より歩行できますが、初めは看護師が付き添います。 - 腰をひねる動作はしないようにしましょう。			
食事	- 食事はできません。 - 水分は酸素マスクが外れれば水は飲むことができます。			
清潔	- 顔を拭く、口の中をきれいにしてお手伝いをします。 - 酸素投与終了後からは、洗面所で歯磨き・洗面ができます。			
説明指導	- 手術後、点滴・腰に入っている管が引っ張られたりしないように注意しましょう。 - 深部静脈血栓症予防のため足首の運動をしましょう。 - 手術後は痛みなどの症状に対し、お薬を使用します、遠慮なくお伝えください。			

このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。

内視鏡下腰椎椎間板切除術 患者さんパスシート(No.5)

ID		診療科名	
氏名		入院予定期間	入院日
生年月日			退院日
月日	／	／	
経過	5日目（術後 1 日目）	6日目（術後 2 日目）	
達成目標	・ 転倒予防について理解しましょう。 ・ 痛みが強い場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。 ・ 深部静脈血栓症を予防するため、積極的に歩行しましょう。		
治療	・ 朝・夕方に抗生剤の点滴があり、夕方の点滴が終了したら点滴の針を抜きます。 ・ 歩行ができれば弾性ストッキングを脱ぎます。		
薬	・ 以前から内服していた薬は、医師が確認してからになります。 ・ 朝・夕食後、痛み止めの内服薬が処方されます。 ・ 痛みが強いときは追加の痛み止めがあるので、看護師にお知らせください。		
検査	・ 朝食前に採血をします。		
処置	・ 医師が傷の消毒を行い、腰に入っている管を状況をみて抜く可能性があります。		
観察	・ 血圧、脈拍、体温、傷の状態(出血の有無、痛み)について観察していきます。 ・ 腰に入っている管が曲がったり、抜けていないか観察します。		
活動	・ 歩行が安定するまでは看護師が付き添います。 ・ 腰をひねる動作はしないようにしましょう。		
食事	・ 朝食より食事が始まります。 		
清潔	・ 体を拭くお手伝いをします。 ・ 管が抜けたら防水フィルムを貼って、シャワーを浴びることができます。		
説明指導	・ 痛み止めの内服方法について薬剤師から説明があります。 ・ シャワー浴の際は腰を曲げないようにしましょう。 ・ 術後の転倒予防について説明します。 ・ 腰の管が抜けないう、ベッド柵に引っかかったり衣服の着脱時に引っ張られないように気をつけましょう。 		

このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。

日本医科大学付属病院 2021 年 9 月作成

内視鏡下腰椎椎間板切除術 患者さんパスシート(No.6)

ID		診療科名		
氏名		入院予定期間	入院日	
生年月日			退院日	
月日	/		/	
経過	7日目(術後3日目)		8日目(術後4日目)	
達成目標	・痛みがある場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。 ・転倒予防について理解しましょう。 ・退院に向けて積極的に歩行しましょう。 ・退院後の生活をイメージしましょう。			
治療	・特にありません。			
薬	・毎食後の痛み止めと、元々内服していた薬を飲むことができます。 ・痛みが強いときは追加の痛み止めがあるので、看護師にお知らせください。			
検査	・特にありません。			
処置	・医師が傷の消毒を行い、腰に入っている管を状況をみて抜く予定です。			
観察	・腰をひねる動作はしないようにしましょう。 ・腰を曲げる動作は術後7日目まではしないようにしましょう。			
活動	・特に制限はありません。転倒に注意して歩行しましょう。			
食事	・制限はありません。			
清潔	・管が抜けたら防水フィルムを貼って、シャワーを浴びることができます。			
説明指導	・退院後の注意点について、リーフレットを使用して説明します。 ・日常生活に関する注意点、心配や不安なことがある場合は遠慮なくお尋ください。 ・保険などの書類は、退院日に本館1階Aブロックの受付窓口へ提出してください。(受付窓口は平日、土曜のみ利用可能です。) 			

このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。

内視鏡下腰椎椎間板切除術 患者さんパスシート(No.7)

ID		診療科名		
氏名		入院予定期間	入院日	
生年月日			退院日	

月日	／		
経過	9日目（術後5日目）		
達成目標	・痛みがある場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。 ・転倒予防について理解しましょう。 ・退院に向けて積極的に歩行しましょう。 ・退院後の生活をイメージしましょう。		
治療	・特にありません。		
薬	・毎食後の痛み止めと、元々内服していた薬を飲むことができます。 ・痛みが強いときは追加の痛み止めがあるので、看護師にお知らせください。		
検査	・特にありません。		
処置	・特にありません。		
観察	・腰をひねる動作はしないようにしましょう。 ・腰を曲げる動作は術後7日まではしないようにしましょう。		
活動	・特に制限はありません。転倒に注意して歩行しましょう。		
食事	・制限はありません。		
清潔	・シャワーを浴びることができます。		
説明指導	・日常生活に関しての注意点、心配や不安なことがある場合は遠慮なくお尋ねください。 ・退院後の外来診察日について説明します。 ・退院日に忘れ物がないよう荷物を整理しておきましょう。お帰りの際に一緒に確認致します。 ・保険などの書類は退院日に本館 1 階受付窓口に提出してください。		



このパスシートは、診療計画の概要をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承下さい。

日本医科大学付属病院 2021 年 9 月作成

内視鏡下腰椎椎間板切除術を受けられた方へ

【退院後の生活の注意点】

食事について

- ・手術を受けた事による、制限はありません。
- ・規則正しい食生活を心がけて下さい。

清潔について

- ・退院の際、管を抜いた部分にフィルムが貼ってある場合は、次回外来時に診察後はがしますので、そのままシャワーを浴びて下さい。シャワーの際はゆっくりと曲げるようにして下さい。
- ・外来受診後、入浴の許可が出ます。
- ・管を抜いたところは泡立てた石鹸でこすらずやさしく洗って下さい。

運動について

- ・手術後、足のしびれが残ることがありますので、転倒に気を付けて生活して下さい。
- ・筋力回復のため、しびれや痛みに応じて散歩などの適度な運動を取り入れて下さい。
- ・腰をひねったり、重いものを持ち上げる動作は医師の指示があるまで避けて下さい。

その他

- ・痛みに関わりなく、医師の指示通り定期的に外来受診して下さい。

以下の場合を受診してください

- ・38度以上の発熱および、創部の腫れや痛みが続く場合。
- ・腰の部分にあたる、洋服や下着に血液や浸出液が付いている場合。

緊急時の対応について

- ・平日の8:00～16:30は整形外科外来、夜間休日は救急外来にて対応致します。
夜間休日に受診する場合は、予め電話にてご連絡をお願い致します。